

門議員

里地・里山と勝山市農業・農村ビジョンの推進について

問 勝山市の農業・農村ビジョンにおける産業と生活基盤の構築は、里山が築いた文化を受け継ぐものと思われ、里地・里山の理念と相違があるのかどうか。

答 また勝山の観光資源として、恐竜ばかりでなく博物館の外にある素敵な自然を満喫し楽しめるポイントとしての売り込みも必要ではないか。

答 里地・里山と勝山市農業・農村ビジョンの理念は相通じるところがあるため、里地・里山の保全の取り組みと連携して農林業の振興に努めていく。

また勝山の豊かな自然は貴重な財産であり、観光素材としての活用の可能性があると考えており、今後とも様々な形で、里地・里山などの観光資源としての活用について研究し取り組んでいく。

結婚相談事業について

問 勝山の結婚相談事業の現状について伺う。また結婚していない男女が結婚するための、出会い創出

その他の質問
・郷土資料の自費出版に対する助成について

事業を強化する必要があると思われるが、取り組みへの強化対策について伺う。

答 市では結婚相談室を常設し、市から委嘱を受けた10名の結婚相談員が、毎月第1・第3木曜日は午後1時から3時30分まで、第2・第4木曜日は午後6時から8時30分まで相談業務を行っている。

また専属の事務職員の長年の経験により、少人数の若者同士が共同作業で交流を深めることが、効果があるので、この視点で事業を進めている。今後、他市の事例等も研究するとともに、イベントにより参加しやすい体制を構築したい。



長尾山周辺

『出典：福井県「守り伝えたい福井の里地里山」』

下道議員

リサイクルステーションの設置について

問 家庭内のゴミを減らし、資源のリサイクルを推進するために、坂井市ではスーパーの敷地内にリサイクルステーションが設置されている。

古紙は、雑誌、新聞紙、ダンボール紙などに、廃食油は、家畜の飼料や肥料、石鹼などにリサイクルされている。

勝山市でも取り組む必要があるのではないかと、考えを伺う。

答 勝山市では、各地区に常設の回収ボックスや資源ごみステーションを設置しており、市内の一部のスーパーでは、食品トレイ等の回収ボックスを設置しているところもある。現段階では新たなリサイクルステーションを設置する考えはない。

観光客への市民のおもてなしの対応について

問 勝山市観光ガイドボランティアクラブは、現在20名の会員で観光客へのまちなか散策や平泉寺などの案内を行っている。

平成24年度の案内件数は、約

その他の質問
・除雪車にGPSを導入することについて
・「小笠原家廟所・開善寺」の在り方について
・中部縦貫自動車道の予算減による影響について
・旧勝山精華高校の土地に関する補償について

123件、延べ約3,800名と、活発な活動をしている。

今後の観光客の増加を考えると、市民も、歴史などを勉強していくことが必要で、それが「おもてなし」の心だと思いが、今後の市の対応を伺う。

答 まちなか誘客を進めるために「勝山まちなか観光誘客促進協議会」が勝山観光協会、勝山商工会議所、ゆめおーれ勝山が中心になって結成された。協議会では市民を対象に、まちなかを再発見、再認識して、観光客のおもてなしにつながるよう、観光ガイドボランティアクラブの案内でまちなかを巡る「かちやままちなか再発見ツアー」を実施する。

今後、市民の皆さんへの広報と共に、観光に携わる関係者の研修の機会も設けていきたい。



リサイクルステーション (坂井市)